

小間使 (1946)

CLUNY BROWN

メディア 映画

ジャンル ドラマ コメディ

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 100分

初公開日 1950/12/19

公開情報 セントラル

【解説】

ルビッチのFOX移籍後の二作目が遺作となってしまった。39年、戦下のチェコを追われた作家（C・ボワイエ）は単身ロンドンに渡り、ある貴族の屋敷に転がり込む。そこで唯一まともな人物は、小間使いのクルーニー（J・ジョーンズ）だった。彼は小間使いと友情を、やがては愛をはぐくむことになる。ブルジョワの華麗な暮らしを描くのを得意としつつも、作品のどこかしらで、その階級意識をあざ笑わずにはいられなかったルビッチの諷刺精神は、英国貴族を相手とするとき最も強く発揮されたようだ。と言っても、実に軽やかな恋愛戯画は、人生の幕引きまでも相変わらず。

【クレジット】

監督	エルンスト・ルビッチ	Ernst Lubitsch
製作	エルンスト・ルビッチ	Ernst Lubitsch
原作	マージェリー・シャープ	Margery Sharp
脚本	サミュエル・ホッフエンスタイン	Samuel Hoffenstein
撮影	ジョセフ・ラシェル	Joseph LaShelle
音楽	シリル・モックリッジ	Cyril Mockridge
	エミール・ニューマン	Emil Newman
出演	シャルル・ボワイエ	Charles Boyer
	ジェニファー・ジョーンズ	Jennifer Jones
	ピーター・ローフォード	Peter Lawford
	ヘレン・ウォーカー	Helen Walker
	レジナルド・ガーディナー	Reginald Gardiner
	C・オーブリー・スミス	C. Aubrey Smith
	レジナルド・オーウェン	Reginald Owen
	リチャード・ヘイドン	Richard Haydn